

いよいよ 2026 年がスタートしました。「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆さんは今年どんな自分になりたいですか？新しい目標を立てた人も、まだお探し中の人も、図書館へどうぞお越しください。本との出会いは新しい価値観との出会いでもあります。今年の目標のヒントとなる言葉が本棚のどこかであなたを待っているかも知れませんよ。



借りたいです！

短いのに、おもしろい

短編・ショートショートのすすめ

3 学期は勉強や部活で忙しくて、なかなかまとまった読書時間がとれない学期でもあります。そんなときこそ「短いのにおもしろい」短編やショートショートで、気軽に読書を楽しんでみませんか。ページ数が少なくても、短いからこそ光るストーリーがたくさんあります。「読書はしたいけど、長いのはちょっと…」というあなたにもぴったり。朝読の 10 分間はもちろんのこと、授業前の 3 分間、就寝前の 5 分間などちょっとしたスキマ時間を豊かな読書の時間に変えてみませんか。

「ボッコちゃん」 星 新一

「3 分で世界がひっくり返る！」ショートショートの神様が贈る、究極の短編集。毒気とユーモア、そして予言的なラスト。わずか数ページで鮮やかに世界が反転する驚きは、一度味わうと癖になります。短編小説の入門にして、最高傑作です。

「満願」 米澤 穂信

なぜ一線を越えてしまったのか？人の心の奥底に潜む闇を巧みなプロット(筋書き)で描き出すミステリー短編集。全ての話が、最後の一文でぞっとするような結末を迎えます。読後のイヤ～な余韻は一級品です。

「阪急電車」 有川 浩

ローカル線「阪急今津線」に乗り合わせた人々の人生が、ほんの少しだけ交差し、やがて小さな奇跡を起こしていく恋と再生の物語。登場人物たちの小さな勇気が連鎖していく様子に、心が温かくなります。

「お探し物は図書室まで」

青山 美智子

仕事、将来、自分自身の価値。行き詰まりを感じている 5 人の登場人物が小さな図書室で手渡されたのは、驚くような 1 冊と奇妙な羊毛フェルト。「探し物」をしている人たちの背中をそっと押してくれる短編集です。

「むかしむかしあるところに、死体がありました。」 青柳 碧人

誰もが知る「日本昔話」を舞台に殺人事件が起きた！密室やアリバイ、ダイイングメッセージなどの“ミステリーあるある”のトリックを用いた「新感覚☆おとぎ話ミステリー」を楽しもう！



「ちょっとだけ読んでみたい…。」
そんな気持ちで大丈夫。気軽に選んで、目次で「いいな」と思った 1 話だけ読んでみよう。読書のハードルがぐっと下がるはずです。